

旧海軍航空隊 市民参加の語り継ぐ会も



安房神社にある慰靈碑前で行われた慰靈祭

館山市にあつた旧館山海軍航空隊で発祥した海軍落下降下部隊の慰靈祭と語り継ぐ会が27日、同市で開かれた。慰靈祭は同市大神宮の安房神社にある慰靈碑前で毎年開かれており、今年は遺族ら約20人が参列した。午後から一般市民も参加して開かれた語り継ぐ会では、遺族3人が父親のことなどを語った。

石川県白山市から参加した高崎邦敏さん(76)は、小隊長として出陣した父・信明さんが、ティモール島クパン(現インドネシア)へ降下後、負傷した部下に声をかけている時に狙撃兵に撃たれ、亡くなつたことを報告した。「父親のことを知りたくていろいろ調べ

た。戦友の話や記録で最後の様子がわかつた。館山に来て話せてよかつた」と語